

日本医科大学付属病院東洋医学科活動報告

部長・助教授	三浦 於菟 (平成17年1月まで)
部長・教授	高橋 秀実 (平成17年2月より)
非常勤講師	斉藤 輝夫
〃	春木 英一
研究生	古賀 実芳
〃	川嶋 裕子
〃	廣瀬 誠
〃	升森 隆
〃	興津 寛
〃	小林 瑞
非常勤鍼灸師	土屋 喬
〃	菊池 順彦
〃	福島 厚

1. 沿革

本科は、平成2年(1990)7月2日、千代田区飯田橋にあった日本医科大学付属第一病院の『東洋医学外来』として発足した(部長・精神科藤木健夫講師)。平成4年6月1日、日本医科大学付属第一病院東洋医学センターと改名し、病院長直轄の診療研究教育機関となった(センター長・藤木健夫助教授)。付属第一病院の閉院に伴い、平成9年7月1日、文京区千駄木の日本医科大学付属病院東洋医学科として移転再発足した。平成15年4月には、日本東洋医学会の教育研修指定施設として認定された。

平成17年1月をもって部長の三浦於菟が、新設された東邦大学付属大森病院東洋医学科に教授として赴任するために退職した。2月より免疫学教室主任教授の高橋秀実が本科の兼務部長となった。

2. 診療教育研究活動

診療活動：東洋医学とは、中国より伝来し本邦に根付いた民族伝統医学との認識に立ち、流派にこだわらず、本来の伝統医学的観点と体系に基づき診療する事を方針としている。また西洋医学的診断を明確にした上での診療を原則とし、他科との連携を重視している。

月から土の午前午後の一診であり、鍼灸師による鍼灸専門外来は、月・水・土で3日である。約35%が煎薬であり、エキス剤と共に院外処方としている。また西洋薬処方原則としておこなわず、必要な時には他科へ依頼している。

教育啓蒙活動：学生への講義は4年生に2コマおこなっている(必修)。外来実習は、割り当てら

れた4年生の診断学実習が1日ある。

平成2年の東洋医学センター設立より、8月と12月を除く毎月第4or5土曜日の午後6時半より公開研究会をおこなっている。本年は実践処方解説と題し、エキス剤を中心とした漢方方剤の構成・適応・症例などの解説を、7月までおこなった。

平成13年より毎月2度、東洋医学の啓蒙普及のために市民のための漢方教室を実施した。本年度は7月まで、病気と東洋医学・漢方薬の副作用・東洋医学の服用方法などについて解説した。

研究概要：あくまで東洋医学的観点に基づき、より臨床に根ざした研究を方針としている。具体的には、盗汗の種々の病態と病態概念の史的変遷・玉屏風散の臨床的応用・東洋医学の緩和医療への応用・未病概念の検討・ARDK(自動経絡測定装置)の臨床的応用などについて研究し発表した。

3. 研究業績

◇著作

- 1) [単著] 三浦於菟：『実践漢薬学』。P452。医歯薬出版株式会社。2004
- 2) [分担] 三浦於菟：梅核気の漢方療法『漢方診療二頁の秘訣』。P206-207。金原出版。2004

◇原著

- 1) 三浦於菟、李彦：玉屏風散加味による難治性蕁麻疹の治療経験—玉屏風散の病態への一考察—。漢方の臨床：51(5)：616-624。2004
- 2) 三浦於菟：東洋医学の未病思想。日本未病システム学会雑誌10(1)：25-28。2004
- 3) 古賀実芳、春木英一、斉藤輝夫、三浦於菟、平馬直樹、世良田和幸：脾陽虚証のアトピー性皮膚炎の一例日本小児東洋医学会紙20(1)：50-53。2004
- 4) 三浦於菟：4病態の盗汗症例。温知会会報No.53：24-28。2004

◇総説

- 1) 三浦於菟：実践漢薬学第22回漢薬学各論—収斂薬(1)—。漢方研究：104-107。2004
- 2) 三浦於菟：漢方ものしり辞典—東洋医学対語辞典④—、精神MEDICAL KANPO 2004春号：12。2004
- 3) 三浦於菟：実践漢薬学第23回漢薬学各論—収斂薬(2)—。漢方研究：148-153。2004
- 4) 三浦於菟：未病とは何か。地球人2(2)：16-19。

2004

- 5) 三浦於菟：漢方ものしり辞典－東洋医学対語辞典⑤－，癩乱・消渴 MEDICAL KANPO 2004 秋号：16. 2004
- 6) 三浦於菟：東洋医学からみた男性の更年期 毎日ライフ 35 (13)：42-44. 2004
- 7) 三浦於菟：わかりやすい漢方薬の使い方－夏季に多用される方剤－. 港北区医師会 175号：30-31. 2004

◇国際学会発表

- 1) 三浦於菟：従歴代医書来看当帰六黄湯的組成〔歴代医書よりみた当帰六黄湯の成立〕. 第七届全国中医文化与臨床，第十三届全国医古文学術研討会. 2004
- 2) 三浦於菟：日本国東洋医学的現状－与中国方剂的差異－〔日本の東洋医学の現状－中国方剤の相異－〕. 南京中医薬大学学術研討会. 2004

◇国内学会発表

- 1) 土屋喬，福島厚，古賀美芳，川嶋裕子，春木英一，斎藤輝夫，三浦於菟：鍼刺左心兪による一症例. 平成 16 年日本東洋医学会東海支部静岡県部会学術講演会. 2004
- 2) 三浦於菟，古賀美芳，川嶋裕子，土屋喬，福島厚，春木英一，斎藤輝夫：玉屏風散の病態像－有効 50 例による検討－. 第 55 回日本東洋医学会学術総会. 2004
- 3) 三浦於菟：気虚証の盗汗. 第 14 回漢方治療研究会. 2004
- 4) 三浦於菟：有効性判定に ARDK が有用であった五積散の一例. 第 22 回日本東方医学会. 2004

◇学会講演・シンポジウム他

- 1) 三浦於菟：薬性・配合理論よりみた漢方処方. 日本東洋医学会専門医制度委員会平成 15 年度関東甲信越地区春季教育講演会. 2004
- 2) 三浦於菟：盗汗理論の史的変遷と病態像. 平成 16 年日本東洋医学会東海支部静岡県部会学術講演会. 2004
- 3) 三浦於菟：中国伝統医学理論よりみた処方と症例. 日本東洋医学会栃木県部会第 12 回学術総会. 2004
- 4) 三浦於菟：病氣と未病のボーダーを探る「東洋医学の未病思想」. 第 10 回日本未病システム学会. 2004
- 5) 三浦於菟：「緩和医療と東洋医学(鍼灸と漢方)」緩和医療、特に疼痛の東洋医学的病態論. 第 55 回日本東洋医学会学術総会. 2004